1	1	0	0	C　カテゴリ名の再定義
1	1	0	1	D　未定義
1	1	1	0	E　未定義
1	1	1	1	F　未定義

3　セグメント長は4ビット又は12ビットから成り、セグメントデータのバイト数を指定する。4ビットのセグメント長で指定できる最大のデータ長は14バイトとする。14バイトを超えるセグメントデータを伝送する場合は、セグメント長をF（hex）とし、これに続く1バイトの拡張セグメント長で指定する。その際、指定できる最大データ長は255バイトとする。セグメント長を拡張した場合の構成は、次のとおりとする。

セグメント長	拡張セグメント長
4ビット	8ビット

○総務省告示第三百八号

超短波音声多重放送及び超短波文字多重放送に関する送信の標準方式（平成二十三年総務省令第八十九号）第五条第一項第五号及び第六条第四号（いずれも超短波放送に関する送信の標準方式（平成二十三年総務省令第八十六号）第七条において準用する場合を含む。）の規定に基づき、フレーム行列の構成及び音声信号の送出手順を次のように定め、平成二十三年六月三十日から施行する。

なお、平成十年郵政省告示第三百九十六号（超短波音声多重放送及び超短波文字多重放送に関するフレーム行列の構成及び音声信号の送出手順を定める等の件）は、平成二十三年六月二十九日限り廃止する。

平成二十三年六月二十九日

総務大臣　片山　善博

一　フレーム行列の構成

1　フレーム行列の第一列の第一行から第十八行までは、フレーム同期符号の送出のために使用するものとし、その値は、フレーム行列からの読み出し順に「〇一〇〇〇一〇〇一一〇一〇一一一〇」とする。

2　フレーム行列の第一列の第十九行から第三十四行までは、制御符号（当該フレームの受信を補助するために送出する符号をいう。）の送出のために使用するものとし、その構成は、別表第一号に示すとおりとする。

3　フレーム行列の第百八十四列から第百九十一列までの構成は、別表第二号に示すとおりとする。

4　フレーム行列の第二列から第二百七十三列までの各行を単位とする二七二ビットの構成は、別表第三号に示すとおりとする。

二　音声信号の送出手順

1　音声信号の量子化

㈠　音声信号の標本値は、十四桁の二進数字によって表示される等間隔の音声レベル（以下「音声量子化レベル」という。）に量子化するものとする。

㈡　音声量子化レベルは、その二進数字の最上位の桁が「〇」でその他の全ての桁が「1」のとき正の最大値、全ての桁が「〇」のとき〇及び最上位の桁が「1」でその他の全ての桁が「〇」のとき負の最大値とする。

㈢　音声量子化レベルは、次の式で求められる範囲にあるものとする。

$-2^{P-1} \leqq Q \leqq 2^{P-1}-1$

Pは音声量子化レベルを表す二進数字の桁数、Qは音声量子化レベルを表すものとする。

2　音声標本語

音声標本語は、1により量子化された音声信号を別表第四号に示す符号器により符号化した四桁の二進数字とする。

別表第一号

B_{15}	B_{14}	B_{13}	B_{12}	B_{11}	B_{10}	B_9	R_8	R_7	R_6	R_5	R_4	R_3	R_2	R_1	R_0

注1　B_{15}からB_{11}までの符号の値は、「10000」とする。

2　B_{10}の値は、音声信号を送出しているときは「1」、送出していないときは「0」とする。

3　B_9の値は、文字信号を送出しているときは「1」、送出していないときは「0」とする。

4　R_8からR_1までの符号の値は、B_{15}からB_9までの7ビットの各符号の値を各項の係数値とした多項式$B_{15}X^{14}+B_{14}X^{13}+B_{13}X^{12}+\cdots+B_9X^8$を生成多項式G（X）$=X^8+X^7+X^6+X^4+1$で除した剰余の多項式$R_8X^7+R_7X^6+R_6X^5+\cdots+R_2X^1+R_1$の各項の係数値とする。

5　R_0の値は、B_{15}からR_1までの各符号において「1」の数が偶数であるときは「0」、奇数であるときは「1」とする。

6　B_{15}からR_0までの符号は、B_{15}から順に、フレーム行列の第1列の第19行から行番号順に書き込むものとする。

別表第二号

	第百八十四列	第百八十五列	第百八十六列	第百八十七列	第百八十八列	第百八十九列	第百九十列	第百九十一列
第1行	D_{271}	D_{270}	D_{269}	D_{268}	D_{267}	D_{266}	D_{265}	D_{264}
第2行	D_{263}	D_{262}	D_{261}	D_{260}	D_{259}	D_{258}	D_{257}	D_{256}
・・・	・	・	・	・	・	・	・	・
第23行	D_{95}	D_{94}	D_{93}	D_{92}	D_{91}	D_{90}	D_{89}	D_{88}
第24行	D_{87}	D_{86}	D_{85}	D_{84}	D_{83}	D_{82}	D_{81}	D_{80}
第25行	T_{79}	T_{78}	T_{77}	T_{76}	T_{75}	T_{74}	T_{73}	T_{72}
・・・	・	・	・	・	・	・	・	・
第34行	T_7	T_6	T_5	T_4	T_3	T_2	T_1	T_0

注　T_{81}からT_0までの符号の値は、D_{271}からD_{82}までの190ビットの各符号の値を各項の係数値とした多項式$D_{271}X^{271}+D_{270}X^{270}+\cdots+D_{82}X^{82}$を生成多項式G（X）$=X^{82}+X^{77}+X^{76}+X^{71}+X^{67}+X^{56}+X^{52}+X^{48}+X^{40}+X^{36}+X^{34}+X^{29}+X^{22}+X^{18}+X^{10}+X^4+1$で除した剰余の多項式$T_{81}X^{81}+T_{80}X^{80}+\cdots+T_0$の各項の係数値とする。

別表第三号

第	第	第百九十一列	第百九十二列	第百九十三列	第二百七十二列	第二百七十三列
一	百					
二	九十					
三	一					
四	二					
・・・・・・	三					
九十	・・・					
列	列	C_{271}	C_{270}	C_{269}	C_{83}	C_{82}	S_{81}	S_{80}	・・・	S_1	S_0